

学校便り 1月号

令和7年1月6日発行

和歌山市立岡崎小学校

本年もどうぞよろしくお願ひします

学 校 長

新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新年のこの時期には、誰しも、新鮮な気持ちになります。初詣は、これから始まる1年を展望しながら、手を合わせたり、夢や目標を描いたりするでしょう。そして、その願いを託し、身につけるものとして、お守りがあります。始業式では、お守りのいまむかしについて話しました。

【お守りのいまむかし】

平安時代初期…天然痘という当時原因不明の病気から身を守るために生まれた。

平安時代中期…貴族の女性が外出する際、危険な道中の安全を願い身につけた。

江戸時代……旅が人気になり民間に広がる。人気歌舞伎役者が上腕部に巻いておき、腕をまくった際にちらりと見せたことから、おしゃれアイテムとして人気となつた。

明治時代……今、私たちが目にする、ひものついた「お守り」の形になった。この頃は社寺で札を求め、別に購入した袋に入れて身につけていた。

1970年代……車に貼る交通安全のステッカーが登場した。

1980年代……クレジットカードの普及により財布に入れられるカード型のお守りが人気になった。

1990年代……携帯電話につけられるストラップ型が生まれた。

【読売KODOMO新聞（令和7年1月16日）一部抜粋 より】



夢や目標を持つことは素晴らしいことです。新年を迎える、新たな気持ちになっているこの時期を大切にし、1年の目標を持ってもらいたいとも話しました。そして、子どもたちには、それが実現できたのか、あるいは、どこまで達成できたのかを振り返ってほしいと思っています。自分のしたことを探り返り、結果だけではなく、自分の努力を自分で認めることができることは、とても重要なことです。大人になる過程において、このような経験を積み重ね、自己肯定感をもち、豊かな人生を歩んでいってほしいと願っています。

本年も、私たち教職員は子どもたちの成長のため、力を尽くしたいと考えています。昨年と同様、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。